

緑の健都へ・瞬発の年



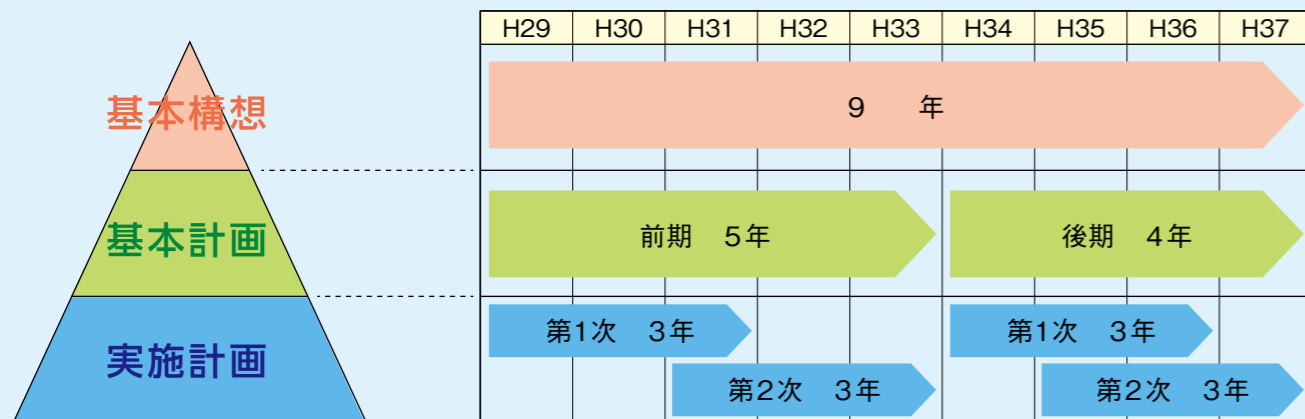
市の最上位計画である第2次亀山市総合計画が始動し、将来都市像として描いた「歴史・ひと・自然が心地よい 緑の健都かめやま」の実現に向けた取り組みがスタートしました。

人口減少社会が到来するなかで、豊かな自然や歴史文化と共生しながら、小さいながらも「暮らしやすさ」や「心地よさ」を備えた活力ある都市へと成長できるよう、市民の皆さまとともに「オール市役所」全庁一丸となって、最善の努力を積み重ね、取り組んでまいります。

総合計画とは

第2次亀山市総合計画

第2次亀山市総合計画は、市の将来像などを示す「基本構想」を頂点に、その実現のための施策の方向を示す「基本計画」、また、基本計画を具体的に進めるための主要事業をまとめた「実施計画」の3層により構成しています。



基本構想

歴史・ひと・自然が心地よい

将来都市像 緑の健都 かめやま

地域に根ざした自然・歴史・産業が調和した「まち」、心身ともに健やかな日々を過ごせる「ひと」の暮らす亀山市。こうした亀山市の心地よさを「まち」も「ひと」も健康な状態であると捉え、それをさらに高め、次代へつなげるため、持続的に発展し続けられる「健康都市」でありたいという想いを、将来都市像として示しています。

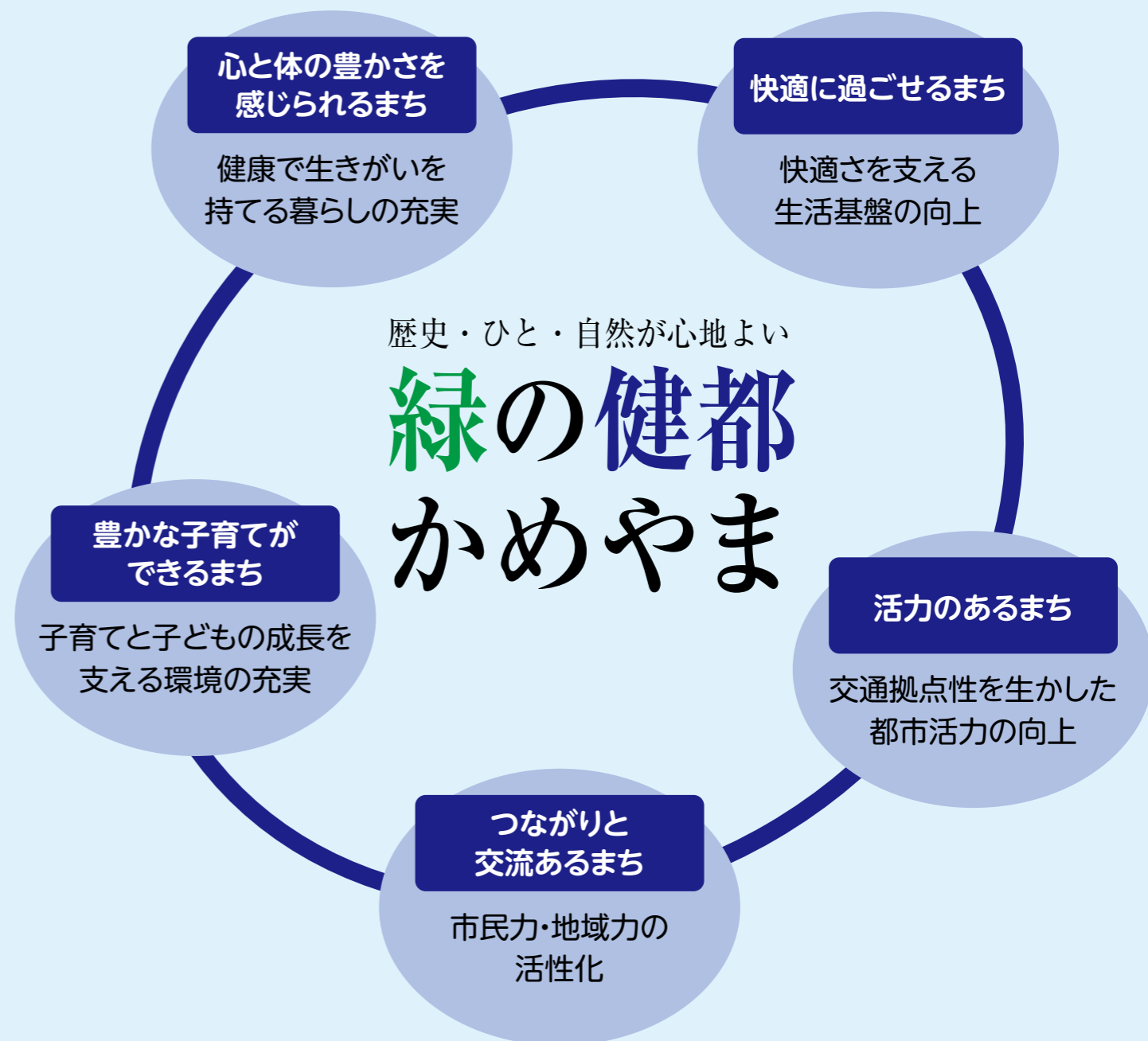
まちづくりの基本方針 市民力・地域力が輝くまちづくり

将来都市像の具現化を図るためには、多くの課題を解決していかなければなりません。そのためには、市民・団体・地域・事業者など亀山市に関わるすべての主体がそれぞれの持つ力を合わせ、連携・協働してまちづくりを進めることが重要です。

こうしたことから、市民と地域の持つ力を生かし、輝かせるまちづくりとして、『市民力・地域力が輝くまちづくり』を今後のまちづくりの基本方針として位置づけています。

施策の大綱

市が目指す将来都市像から導かれる「目指すまちのイメージ」に対応し、その具現化を図るために推進する政策の柱として、5つの「施策の大綱」を位置づけ、まちづくりを展開します。



前期基本計画

5つの大綱に行政経営を加えた6つの施策の大綱のもとに、30の基本施策、329の個別施策を位置づけています。

前期基本計画のポイント

5つの戦略プロジェクト

人口減少社会に対応し、持続的に成長することができるよう、5つの戦略プロジェクトを掲げ、重点的に取り組むこととしています。

- 戦略プロジェクト1 『健都さぷり』
- 戦略プロジェクト2 『安全力ジャンプアップ』
- 戦略プロジェクト3 『JR亀山駅周辺拠点力向上』
- 戦略プロジェクト4 『ジモトノココロ』
- 戦略プロジェクト5 『そして、親となるまち』